学校教育目標
み　自ら　学び
な　仲間と　光り
み　未来に鍛える
平成２７年度
みなみ風　第 11 号
平成２８年３月１日発行

みなみ風

三郷市立南中学校だより

三郷市立南中学校
生徒数
１年　１７１名
２年　１６０名
３年　１９３名
電話　９５５－０５５０
FAX　９５６－５８０４

本年度の１０大ニュース

校長　久保田　悟

平成２７年度の最後の月となりました。３年生は卒業まで残り１５日間、もうお別れです。１・２年生はもうすぐ進級、南中学校の顔となって活躍する番です。

さて、平成２７年度という年は、どんな年だったでしょうか。ここで、南中学校の４月からの１年間を振り返り、「南中の１０大ニュース」を記したいと思います。

第１位　９５８名のボランティア活動 … 「あいさつ運動」「赤ペン先生」「運動会の補助」「読み聞かせ活動」「合同避難訓練」として、たくさんの生徒を小学校に派遣しました。また、環境整備で「花植え」「ペンキ塗り」「資源回収の手伝い」など、たくさんの生徒が手伝ってくれました。延べ人数で９５８名の生徒がボランティアに参加しました。

第２位　「七つの剣」で大活躍 … 「科学の甲子園ジュニア埼玉大会」で第３位、「図書館を使った調べる学習コンクール」で優良賞とすばらしい成績をおさめました。

第３位　部活動や運動で大活躍 … 学校総合体育大会では陸上競技の砲丸投げで第２位、そして関東大会に出場しました。また、男子バドミントン部が団体で県大会出場、個人では陸上部と水泳で県大会に出場しました。新人兼県民総合体育大会では、女子バスケットボール部と男子バドミントン部、陸上部が県大会に出場しました。また、女子駅伝チームが市内大会で優勝し、県駅伝大会に出場しました。

第４位　文化面でも活躍 … 運動部に負けないぐらいの活躍でした。、書き初め展、英語スピーチコンテスト、家庭学習標語、税の作文・標語、読書感想文、美術展、人権作文、そして、埼玉県交通安全標語・作文コンクールでは３名が入賞しました。

第５位　伝統の南中祭 … １年生［学ぶこと］、２年生［いのち］、３年生［平和］をテーマに取り組みました。各学年の知恵と情熱を結集して、「仲間を思い、仲間とつながる南中祭」を大成功におさめました。

第６位　エアコン・第２図書館工事の完成 … ２学期より始まったエアコン工事がもうすぐ終わりました。また、創立７０周年記念事業として進めている第２図書館の改修工事も終わります。三郷市では学校環境の整備にたくさんの予算を使ってくれています。地域や卒業生の方々も皆さんによりよい学習環境で学べるように支援してくださいます。本当に感謝です。

第７位　修学旅行 … ３年生のメイン行事、修学旅行では時間を守り協力して行動できました。班別活動も完璧でした。薬師寺の住職の説法を真剣に聞いていた皆さんの姿が印象に残る行事でした。

第８位　職業体験学習 … ２年生のメイン行事、３ｄａｙｓでは行事の意義や目的を良く理解し、しっかりした活動ができたと、ほとんどの職場からお褒めの言葉をいただきました。事業所や関係施設の皆様、ご協力ありがとうございました。

第９位　スキー教室 … １年生のメイン行事、「事故なし」「ケガなし」「病気なし」、自分たちで時間前行動がとれたスキー教室でした。実行委員の皆さんの行動が立派でした。今年から菅平高原に場所を変えましたが、スキーがとっても上達した３日間でした。

第１０位　運動会でクラスが団結 … １学期。新しいクラスになって１ヶ月半後の運動会は日差しの強い厳しい日の練習もありましたが、クラスが団結できた一番の行事になりました。クラス旗も工夫を凝らしたできばえでした。全校で実施した大縄跳びは、３年生の実力が発揮できました。

番外編

英検・数検・漢検 … ３つの検定すべてを実施し、１２８名が合格しました。２級や準２級に合格した人もいました。来年もぜひチャレンジしてください。

南中ホームページの更新 … 毎日のように更新されています。学校の日々の様子や給食のメニューがわかると保護者の皆様から好評でした。アクセスしてみてください。

弥生　３月の予定

4月の主な予定 4/7(木)　準備登校 4/8(金)　入学式・始業式 4/12(火)　給食開始		1　火	2　水 埼玉県立入試 学力検査	3　木 埼玉県立入試 面接・実技	4　金 千葉県立後期 発表日 親の学習 3-123	5　土 9ヶ年無欠席 生徒表彰式 三郷市文化会館
6　日	7　月	8　火 ３年生を 送る会	9　水 親の学習 3-4・5	10　木 埼玉県立入試 発表日	11　金 卒業式予行 ３年給食終了	12　土
13　日	14　月	15　火 卒業証書 授与式	16　水	17　木 １・２年 保護者会	18　金	19　土
20　日 秋分の日	21　月 振替休日	22　火	23　水	24　木	25　金 修了式	26　土
27　日 学年末休業日→	28　月	29　火	30　水	31　木	4月の主な予定 4/14(木)　県学力調査 4/15(金)　保護者会 4/19(火)　全国学力調査	

日本一の読書のまち三郷　おすすめの本コーナー

身近な雑草の愉快な生き方

板垣　栄作(著)　　筑摩書房

冒頭に、「雑草のように強く生きろ」踏まれても踏まれても立ち上がる雑草。強いと思われがちだが、本来は決して強い植物ではないと書いてある。では、雑草はどのようにして強くたくましく生きているのだろうか？50種類の雑草を個性豊かに紹介しているこの本は、私たちの生き方を導いてくれているような気がします。1つ紹介します。「メヒシバ」、名前は知らなくても空き地や畑に地面を這うようにして成長している、少し厄介者扱いの雑草です。しかし、成長していく過程には茎を折られ踏みつけられたりしますが、この植物の特徴でもある節が基点になり、指呼から茎を伸ばしていきます。人もまた、様々な節目とともに生きています。節目があるから立ち止まり再スタートができるのです(一部本文引用)雑草がたくましく思われるのはこうした生き方の知恵を持っているからだと思います。普段見落としがちな雑草も見方がかわってくる1冊です。

お知らせ

学校応援団の取り組み紹介」
展示会の開催

展示場所　ららぽーと１階
「ららほっと三郷」
展示期間
3月7日(月)～3月16日(水)
午前10:00～午後9:00

青少年善行賞　おめでとう

さわやかボランティア
２年　西岡みのり
１年　山家　香織　久米愛理沙　河村　柚葉　飯山孝太郎
深山みあい　菅　智博　小池　美帆　菊地　永莉
細谷　萌香　勝野恵百香　宮下　和士

地域交流活動
３年　畠山　恵次　須恵　洋太　内田　開斗
福岡　隆輔　山内　悠希
２年　木本　颯
１年　馬越　貴大　福岡　陽輔

(敬称略)

平成27年度　学校評価報告書　三郷市立南中学校

評価項目	評価項目		数字は、かなり高いレベルで達している(4点)、概ね規準に達している(3点)、規準には達していない(2点)、達していない(1点)の平均値		学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	教育目標	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。	3.32	3.00	前年比-0.03　学校教育目標「み（自ら学び）・な（仲間と光り）・み（未来に鍛える）」及び今年度の学校経営の6つの柱①「確かな学力」の定着②「社会に貢献する態度」の育成③「正しい規範意識」の向上④「健康でたくましい心と体」の育成⑤「活力溢れる教職員組織」の構築⑥「行動連携・双方互恵」関係の構築の6項目については、本校の生徒及び家庭・地域の実情を踏まえたものであり、適切な目標・課題を設定し組織的に取り組んでいる。学力に関しては具体的な数値を掲げており、バランスよく学習、生活、部活、行事、地域への力の入れている。
		2	学校は、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.16	3.00	前年比-0.19　職員会議・四部会（学習指導部、生徒指導部、生徒活動部、健康・安全部）・学年会・教科会等において、さらに具体的な目標を設定し、PDCAサイクルのもと、経営にあたることができていると考えている。課題としては、今現在取り組んでいることなど、職員会議の資料等でわかりやすくすることも検討していく。
	特色ある学校づくり	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.40	3.25	前年比+0.05　「何かでキラリの南中」～自分の良さを表現しよう～というテーマで特色ある学校づくりに取り組んでいる。真剣な授業・さわやかな挨拶・響く歌声・美しい学校を柱に、具体的な項目を増やし、より多くの生徒が個性を発揮し、良さを伸ばし、取組の観点から教育内容の重点化を図ることができている。
		4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り組織的に取り組んでいる。	3.32	3.25	前年比+0.01　組織的という点で、確認する場があると助かります。（研修の枠など） 学年会、教科会、4部会が充実しているので話が通りやすい体制ができている。ただし、横の連絡はとれているが、縦の連絡がとりづらいところがあるのが現在の課題である。
	資質向上	5	学校は、教職員の服務規律を確保するための取組をしている。	3.32	3.25	前年比-0.33　職員会議後に倫理確立委員会研修会の実施し、信頼維持・事故防止のため、教職員事故防止強化月間・週間の設定、朝の打ち合わせや啓発・指導等をとおして、服務規律を徹底している。風通しのよい職場を目指し、職員室内の会話を増やし、活気ある雰囲気づくりを進めている。立場や仲間のことが考えられる職員集団づくりを心がけ、学校事故ゼロを目指す。
		6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.28	3.00	前年比-0.03　学期ごとに研修計画を立て、授業公開や研究授業を積極的に実施し、研修に取り組んでいる。研修の内容や方法を検討していく必要がある。（同僚同士がお互いに授業を公開し合って、改善策を助言しあう研修に軸足を移している。）しかし、「教職員の資や学校研修課題に即した計画をたてられていない。研修に計画性が必要」と感じている職員もいる。
授業等の状況	学力向上	7	教職員は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づき授業改善に取り組んでいる。	3.20	3.25	前年比-0.26　教科会等で連携をとりながら進められている。また、教科会や学年の間での授業研究、南中タイム（帰りの会学習）の機会の充実よって生徒のわかりたい気持を大切にする教員が多い。学校研修課題である「生徒が意欲的に学び合う授業づくり」を柱に、教職員は学力向上を目指し、生徒の実態に基づき授業改善・工夫に努めている。全国学力学習状況調査の結果を集計・分析し、生徒の実態を把握し課題を明確にして、校内研修や教科会で指導方法の検討をしている。研修部会を中心に研修テーマを決定し、各教科部会でも具体的な学力向上のための授業改善に誠実に取り組んでいる。
		8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.24	3.00	前年比＋0.59　基礎的・基本的な学力の定着が大きな課題となっている。アンケート調査からも家庭学習の習慣が定着していない。キラリノートを作成し、学校として様々な取組を組織的に行ってきてた。しかし、成果が数値として表れていないのが現状である。今後とも地道な取組を継続して行っていく。長期休業中の補習や、部活動のない日の放課後に補習を行うなどをしているが時間が自主的な参加が少ない。小学校で習ってきていることが定着していない生徒へ、いかに基礎的な学力をつけるかが課題である。
	授業規律	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.40	4.00	前年比＋0.05　生徒指導部や生徒活動部と連携しながら、授業規律や意欲的な学習態度の育成に努め、「授業の心得」、教師・生徒ともに意識の向上が図れてきている。「授業規律定着コンクール」を実施し、授業前、授業後のあいさつに関しては十分でないときには必ず「やりなおし」をさせ、指名されたときに返事するように徹底指導している。返事がないときはもう一度名前を呼んでいる。
		10	教職員は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。	3.20	3.50	前年比＋0.20　各時間の目標や学習内容を明確にしており、授業者だけでなく、各学年の取り組みにより、授業に臨んでいる。また、巡視中、時々床にゴミがあったり、机が乱れているクラスを見かける。授業終わりに確認することも必要。授業者による授業規律の確立はもちろん、学級委員会や生活委員会等の生徒活動を活性化させ生徒の主体的な活動も促している。
	読書のまち三郷	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。	3.68	4.00	前年比＋0.30　図書館司書、司書教諭の意識が高く、啓発的な活動に意欲的に取り組み、貸出冊数も増えている。（特に3年生の来室が増えている。）読解力や表現力、応用力が不足している本校の生徒の状況から考え、国語科では図書館を使用した授業を多く展開している。どのような内容であれ、漫画やそれに類するものは必要ないのではないか。との声もある。
		12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。	3.28	3.50	前年比+0.51　定期的な図書館便りの発行に合わせて、担任サイドでも読書案内をするなど丁寧な指導に努めている。 司書の工夫、図書委員会の頑張り、国語科教師の支援もあって昼休みの図書室は盛況である。それだけでなく、朝読書、休み時間の読書など本好きの生徒が多い。
	健康・体力	13	教職員は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.04	3.00	前年比+0.008　学校栄養職員の食育指導や養護教諭からの生活指導を中心に指導を行い、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識の向上を図り、朝食の大切さや食事のバランスの大切さについて指導している。個別指導では十分行っているが、全体への働きかけはまだ足りていない。保健だより、生徒委員会等からの発信等を活用し、給食指導や食育指導を通じて、日常的にバランスの良い食事が、健やかな身体をつくることを指導している。
		14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。	3.24	3.00	前年比-014　雨の日の校舎内の過ごし方に問題があるので、雨天の日の体育館の解放を検討していきたい。 部活動では目標を設定して取り組んでいるが、部活動により大きく温度差がある。 もともと身体を動かすのが好きな生徒が多いため、昼休みに外で活動する生徒が多く活発である。互いの部活を応援する心も育っている。
	人間力を高める道徳教育	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育を積極的に推進している。	2.96	3.00	前年比+0.08　学校教育全体を通して、常に生徒たちの心をはぐくむことに努めているが、まだまだ改善するところが多い。 小中で研修会を行い、意識の改善が図れている。
		16	教職員は、道徳授業の工夫改善をしている。	3.00	3.25	前年比+0.04　夏季の小中合同の研修会において教員相互の道徳授業の実践交流が出来たことは評価できる。 道徳の授業資料等の情報交換を行っている。
指導・管理の状況	礼儀正しい児童生徒の育成	17	教職員は、自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.28	3.00	前年比-0.07　倫理確立委員会で服務規律の確保に努め、また、職員会議で南中生徒指導の手引き（職員必携）の読み合わせを行い教職員の規範意識を向上を図っている。生徒に対して南中オリエンテーションを実施し、規範意識を高める指導を行っている。行事や諸活動を通して、教職員が率先垂範することによって自らが手本となり指導・支援を行っている。しかし、日常では職員が進んであいさつをする、進んで落ちているゴミを拾うなどには課題が残る。
		18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。	3.40	3.50	前年比+0.17　授業開始、終了時のあいさつは指導しているが、廊下ですれ違ったときのあいさつの指導が不徹底。あいさつを生徒たちがしっかりとするようになるには、集会であいさつしようと訴えること、クラスであいさつしようと担任が言うこと、ではなく、部活動で指導することも効果的であると考える。規律やマナーを学ぶには部活動が最も効果的であるのにも関わらず、そういった指導を怠っている部活が多いように感じるので、あいさつもできないのではないかと考えます。
		19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.00	3.00	前年比+0.35　できるだけていねいな言葉使いを心がけている職員が多い。しかし、職員室来室生徒の様子を見ていると、ばらつきがみられます。教師がもう少し意識する必要があると思います。授業中に生徒を呼び捨てにする教員がいるので改善していきたい。教師によって指導に温度差がある。言語環境の改善は日々の生活の中で繰り返し指導する現状である。生徒との適当な距離感も重要と考える。敬語を使うことを意識できていない生徒が多い。1年生のうちから、敬語の徹底をはからなければいけないと感じました。
	生徒指導	20	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.28	3.25	昨年比-0.22　生徒の不登校・非行問題行動に対して組織的な対応を行っている。対応マニュアルの作成し、共通理解を図り共通行動がとれている。学年での情報共有は素早くていねいに行っている。しかし、他学年の問題行動の指導経過等、全職員で共通理解の場を設けたい。集団で生徒に対応しているため独断で指導が進む事がなく指導が入っていく。今後さらに全職員が一枚岩となって積極的な生徒指導が推進できるように取り組んでいきたい。
		21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.56	4.00	昨年比+0.18　学年の共通理解を図りながら、対応している。多くの事例に対し、時間を空けずに連絡を取り対応し、地域・保護者・関係諸機関との連携を図り、組織的に生徒の指導にあたっている。 教育委員会、適応指導教室、第2教育相談室や警察等の関係諸機関と連携を図りながら、生徒の不登校・非行問題行動に対応してきた。今後も保護者や関係諸機関とのネットワークを大切にしていきたい。
		22	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合う指導をしている。	3.48	3.50	昨年比＋0.40　「心と体の安全点検」、面談などにより、問題行動の早期発見に努め対応している。人間関係のトラブルはゼロにはなっていない。人権教育の推進、道徳教育の一層の充実を図っていく。誰かを弱い立場にすることで自分の安心感を得ている生徒に対し、自己肯定感を育てたい。
	安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.44	3.50	前年比+0.09　事故やトラブルに対するマニュアルを作成し、掲示することができている。生徒指導部を中心に安全担当と連携を図り、組織的に迅速に対応できる体制づくりを進めている。
		24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。	3.40	3.75	前年比+0.02　「心とからだの安全点検」によるいじめなどの早期発見、対処・対応をしている。日頃から校内巡視による安心・安全な教育環境づくりに取り組んでいる。施設・設備が老朽化し、修理保全が課題である。安全点検後、破損箇所があればすぐに教頭が対応してくれているが、予算上すぐに対応できないことがある。 学校内の安全指導はもちろんのこと、学校外、小学校へ出向いての合同避難訓練、安全指導、地域への安全指導など守備範囲広く活動ができた。
	環境整備	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。	3.12	3.00	前年比-0.11　清掃指導についてクラスごとに温度差がある。学年全体で統一した指導ができるようにしたい。廊下掲示物は充実しているが、教室掲示がクラスで差が大きい。清掃時間の確保が不十分。廊下階段等の掲示板以外の掲示についても考慮する必要がある。プランターなど花の整備がされている。生徒が遊び、ひっくり返ったままになることが残念。
		26	学校は、学習環境を整えるため、施設・設備の充実を図っている。	3.12	3.00	前年比-0.03　視聴覚・情報機器の積極的な活用を考えている教員はいるが、数が少なく有効活用できない現状がある。保管場所の整理も課題である。 教科予算を増やす。数量不足や古くなった教材、備品が多くなってきた（理科）。 テレビの数など学校により差があるので、学校間の格差をなくしてほしい。
家庭地域との連携状況	家庭・地域との連携	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。	3.64	4.00	前年比-0.05　学校だよりは写真が多く、生徒の活躍がよく示されている。 ホームページが毎日更新されており、、生徒の様子がよくわかる。 学校だよりについては保護者への配布だけでなく、各町会にも配布しており、回覧板等にも入れていただいている。学校行事や各学年の行事などタイムリーな情報を発信することができている。
		28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。	3.40	3.50	前年比＋009　地域青少年育成会との連携や学校配信メールを通して、生徒・保護者に迅速に情報を伝えることができている。 家庭科授業や図書館に関して保護者や地域のボランティアによる連携が一歩進んだ。緑化活動なども保護者、地域の方がお手伝いをしてくれている。もう少し人数がいれば活気付くはずです。
		29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。	3.56	4.00	前年比+0.18　地域みんなでコンサートで学校の活躍、小中連携を訴えることができた。 資源回収では部活動の参加が多く、地域・保護者の方と交流しながら積極的な活動が見られる。